

浄化槽 とやま

2020
No.87
令和2年1月



氷見市雨晴海岸

年頭のあいさつ



公益社団法人富山県浄化槽協会
会長 上田勝朗

令和になって最初のお正月、暖かく雪もなくいつもより長い休みを有意義に過ごされたことと思います。昨年は、大型台風や大雨で被害を受けられた地域がたくさんありました。被害を受けられて復旧がされないまま新年を迎えられた方もたくさんいらっしゃると思いますが、早く元の生活に戻れるようにと願っています。

平成から令和へと移る中で、浄化槽においても法律改正という大きな節目の年で、私も各党に改正の必要性を説明にまわりました。この改正には大きな役割があります。

昨年6月19日に公布の「改正浄化槽法」の詳細は、全浄連ホームページや月刊浄化槽を見ていただきたいのですが、かねてより懸案であった単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換の促進、新しくは公共浄化槽の設置、浄化槽台帳の整備、浄化槽管理士の研修会を義務化しました。4月1日に、改正法は施行されます。昨年3月までに、全国の都道府県で生活排水処理を下水道整備か浄化槽整備か決められました。富山県内15市町村長に直接、「浄化槽整備が財政に優しく、災害に強く、下水道と浄化槽の役割分担で生活排水を処理する

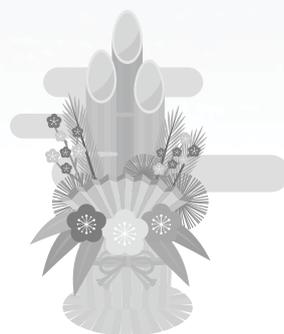
べき」と6年間まわりました。最近では、単独を合併に転換する費用を100%補助する市町が出てきました。市町村型で浄化槽整備も開始する所もありますし、下水道から浄化槽整備区域に変更も進んでいます。特に、首長さんにお話しているのは、富山県は自然に恵まれた地域で、美しい立山連峰、美しい富山湾、名水百選に選ばれた自慢の水、この富山県でまだ多くの生活排水が垂れ流されていて良いのでしょうか。環境問題に熱心に取り組んできた富山県が、全国の先駆けであるべきだ、と訴えてきました。

最近、環境関係の新聞や、浄化槽、下水道の月刊誌などから原稿依頼され、生活排水処理の必要性を書かせていただいています。今、全国の浄化槽に関係する団体の会長や日本廃棄物団体連合会の副会長に就いていますが、人脈も広がり、浄化槽メーカーの研修会や日本トイレ協会で講演させていただくこともあり、浄化槽の役割と信頼向上の話をしていきます。

先日、財務省主計局長と小泉進次郎環境大臣に、新年度予算について要望の説明をしました。大臣とは、昨年、富山県に来られた話しなどで大変話

が弾み、予定時間をオーバーしてしまいました。
小泉大臣が注目されていることもあり、前大臣と同様に浄化槽の現場視察をしていただきたいと思います。

富山県浄化槽協会の新年度は、法定検査の受検率向上と協会事務局の移転、浄化槽法改正に関するパンフレットの作成やPRなどが大きな事業だと考えています。役員や事務局と連携しながら浄化槽のPR、信頼向上、現場の技術者のスキルアップを目指して行きたいと思えます。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

令和二年 元旦

会 長	上田 勝朗	理 事	五十嵐郁夫	理 事	嶋田 仁司
副会長	黒畑 寛	理 事	佐々木隆輔	理 事	島 和也
副会長	廣瀬 和夫	理 事	栗林 卓也	理 事	島 尚之
専務理事	栗林 弘明	理 事	元井健太郎	理 事	山口 康夫
理 事	篇原 幸則	理 事	伊藤 邦夫	理 事	川井 正昭
理 事	鈴木 保二	理 事	氷見 文男	監 事	長田 聖真
理 事	前沢 昭	理 事	嘉藤 肇	監 事	稲場 智久
理 事	竹林 悟	理 事	廣瀬 淳	協 会	職 員 一 同

公益社団法人富山県浄化槽協会

年頭のご挨拶

富山県生活環境文化部長

須河弘美



令和2年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

公益社団法人富山県浄化槽協会の皆様には、ご健勝で新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

貴協会におかれましては、皆様のたゆまぬご努力のもと、浄化槽の普及や適正管理の推進、法定検査の受検率向上の取組みにご協力いただき、厚くお礼申し上げます。また、浄化槽管理士等を対象とした各種講習会の実施に加え、「とやま環境フェア」への出展、「こども環境教室」等の開催や清掃美化活動など、水環境保全に関する啓発活動等に幅広く取り組まれていることに深く敬意を表します。

さて、昨年を振り返りますと、10月に「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会が本県で開催され、世界各国の参加者から県民総ぐるみの環境保全の取組みを高く評価いただくとともに、今後の活動の基本方針等を盛り込んだ「富山宣言」が採択されました。県では、今後とも、富山湾を含む「水の王国とやま」の環境保全に官民一体となって取り組んでまいります。

また、新たな元号「令和」の始まりとともに、浄化槽行政においても大きな変化を迎えております。昨年6月に「単独処理浄化槽の転換の推進」と「維持管理の強化」を主な柱とする改正浄化槽法が公布され、本年4月からいよいよ施行となります。県としては、新たな制度への対応を、貴協会や国、市町村と連携しながらしっかりと進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人富山県浄化槽協会の限らないご発展と、会員の皆様方のますますのご健康、ご発展、ご多幸を心からお祈り申しあげまして、新年のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶



富山県合併処理浄化槽普及促進協議会
富山市環境部長 伊藤 曜一

令和最初の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

公益社団法人富山県浄化槽協会並びに協会会員の皆様におかれましては、日頃から環境行政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り心からお礼申し上げます。

また、貴協会におかれましては、浄化槽の適正な維持管理の推進、環境保全意識の高揚に向け、こども環境教室や環境出前講座の開催、ラジオ放送、新聞の「浄化槽の日特集記事」掲載など活発な啓発活動等を行っておられますことに深く敬意を表する次第であります。

お陰を持ちまして、富山県内における汚水処理人口普及率は、前年度より0.2ポイントアップして、平成30年度末で96.8%となり、都道府県別順位は前年に引続き第8位で、東海・北陸地区でも前年と同じく第1位となりました。このことは、皆様と共に手をたずさえて事業を進めてまいりましたことが、順調な汚水処理施設の整備に繋がったものだと考えております。

一方、日本国内では、単独処理浄化槽が浄化槽全体の52%にあたる約400万基、富山県内におい

ても浄化槽全体の70%にあたる約3万基が残存しており、これらの老朽化による破損・漏水が懸念されていることから、単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に転換することが喫緊の課題となっております。このような状況を踏まえ、令和元年6月12日に「浄化槽法の一部を改正する法律」が可決・成立し、19日に公布されました。この改正によって、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換が推進されるほか、浄化槽台帳の整備や浄化槽管理士の研修機会確保についても明記されるなど、浄化槽管理のあり方そのものが強化されることとなります。

このようなことから、合併処理浄化槽の整備促進等に向け、貴協会ならびに皆様方の果たす役割は、ますます重要なものとなってきており、今後とも十分な連携のもと、的確な施策を実施してまいりたいと考えておりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、公益社団法人富山県浄化槽協会のさらなるご発展と、新しい年が会員の皆様にとって健やかで希望に満ちた一年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

市町村長さんへの浄化槽関係要望

上田会長、黒畑副会長、廣瀬副会長、粟林専務理事、支部長等は、今年度も浄化槽整備の必要性について市町村長さんに説明するため、15の市町村全てを訪問しました。

今年で6回目となる市町村長要望も、直接対応していただけたところが8市町と昨年度より1市増え、上田会長は、来年4月施行となる「改正浄化槽法」に関することや、国、全浄連等の動きを

氷見市長さんと



砺波市 建設水道部長さんと



小矢部市 副市長さんと



南砺市 ふるさと整備部長さんと



全 体

- 1 持続可能な社会の実現に向けて、「浄化槽リノベーション」の取組み強化について
 - 2 市町村設置型等の合併処理浄化槽の早期整備について
- 補助制度の創設
- 3 維持管理等に対する助成制度の創設について
 - 4 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進について
- 災害関係
- 5 災害に備えた体制づくりについて
- その他
- 6 法定検査の受検促進及び浄化槽台帳整備への協力について
 - 7 浄化槽の信頼向上のための警報機取り付け推進について
 - 8 浄化槽法の一部改正に対する積極的な取組みについて

高岡市 市民生活部長さんと



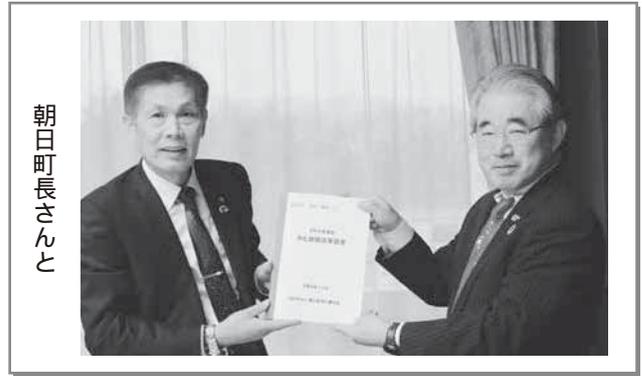
射水市長さんと



説明し、お願いしてきました。

また、現場をよく知っている市町村長さんのお話には説得力があることから、是非、“こんな風にしたらもっとよくなる”というご意見をいただきたいとお願いし、情報交換をおこないました。

上田会長のもと、協会は、今後も浄化槽のさらなる普及促進に取り組んで参ります。



朝日町長さんと



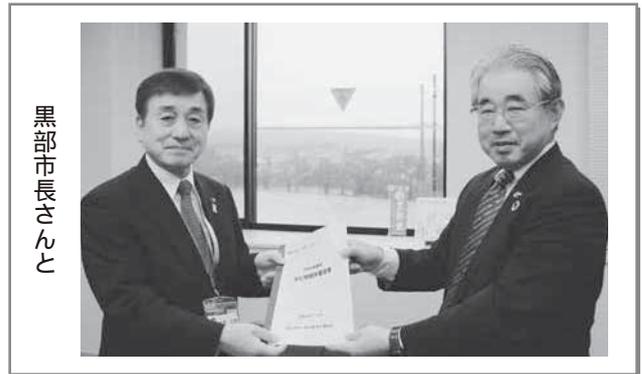
滑川市長さんと



入善町長さんと



富山市 環境部長さんと



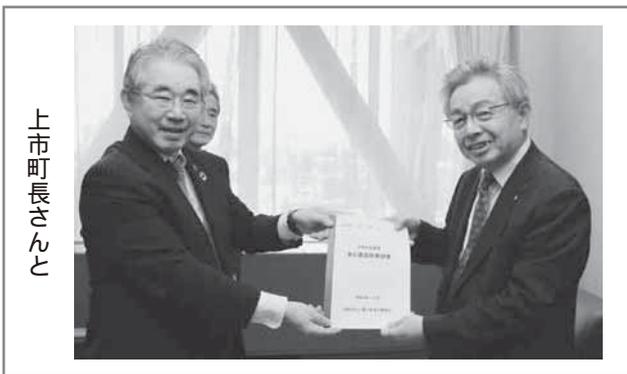
黒部市長さんと



舟橋村 生活環境課長さんと



魚津市長さんと



上市町長さんと



立山町 副町長さんと

県知事さんへの浄化槽関係要望

富山県知事への要望 令和元年11月28日（木）午前

上田会長をはじめ、黒畑副会長、廣瀬副会長及び粟林専務理事は、11月28日午前、富山県庁において、須河弘美生活環境文化部長さんに対し、2020年度の浄化槽整備関係事業等の要望書を提出しました。

今年度で5回目となり、今回も、須河部長さんの他、横井次長さん、矢野環境政策課長さん、中山班長さんなど、多くの方の同席をいただきました。

上田会長からは、富山県内における浄化槽の現状や、来年4月に施行となる改正浄化槽法について説明したうえで、浄化槽の整備促進など7項目を要望しました。

年々手ごたえを感じる「知事要望」となりました。

知事要望事項

〔浄化槽の整備促進〕

1. 浄化槽法の改正に対する積極的な取組みについて
2. 持続可能な社会の実現に向けた取組み強化について

3. 市町村設置型等の合併処理浄化槽の整備促進について

4. 単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への早期集中転換について

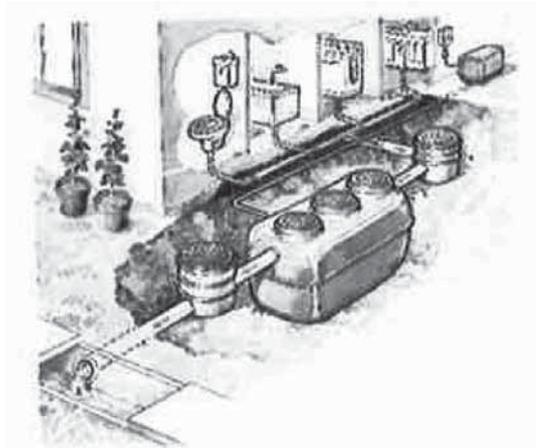
〔浄化槽の適正な維持管理等〕

5. 浄化槽台帳のより正確な整備について

6. 法定検査（第11条検査）の受検基数と受検率の向上について

〔補助制度の拡充〕

7. インセンティブが働く新たな補助制度について



要望書を手渡す上田会長（左）と受け取る須河県生活環境文化部長さん



須河部長さんの他、横井次長さん他、多くの方にもご出席いただき、知事への要望を聞いていただきました。

浄化槽の緊急点検で富山県総合防災訓練に参加しました

9月29日(日)午前 入善町総合体育館会場周辺
メイン会場である入善町総合体育館会場周辺地区において、本部テントを設置し、上田会長をはじめ栗林専務理事、竹林新川支部長及び支部会員5名、協会の検査員4名が「浄化槽の緊急点検等の訓練」を実施しました。



会長から浄化槽の緊急点検の指令！

今回は、入善町の小摺戸浄化センター及び朝日町「歴史公園」公衆トイレの浄化槽において、



地震により被害を受けたことを想定し、浄化槽の緊急点検を実施、使用の可否を判断、合わせて被害の実態調査等を実施しました。

また、本部テントにおいては、浄化槽の普及啓発事業の一貫として、来場者に対し合併処理浄化槽のミニチュアモデルやパネルによる説明の他、啓発パンフレット等の配布も行いました。

環境出前講座の開催

令和元年11月22日(金) 魚津商工会議所ビル



稲村館長さん

「魚津水族館のさかなと水管理」 館長 稲村 修氏

今回は、当協会の新川支部、中部支部、新川地区浄化槽協会及び上市浄化槽協会の合同で開催しました。

当日は、募集30名のところ、43名もの参加があり大盛況！

魚津水族館は、2013年に100周年を迎えた、日本一古い水族館で、富山湾ならではの珍しい生き物もいて、富山県観光地の人気スポットの一つです。



会場のような



浄化槽のパネルも展示

令和元年度浄化槽管理士技術講習会を開催

浄化槽管理士技術講習会(県委託事業)

令和元年度浄化槽管理士技術講習会（県委託事業）を11月13日高岡会場、14日富山会場と2回開催し、県内の浄化槽管理士177名が受講しました。

講演では、富山県からは改正浄化槽法や富山県の浄化槽状況の説明、ポンプメーカーの安永さんからは効率的なメンテナンス方法、ポリテクセンターからは電気事故の発生や原因等を動画を見な

がら説明していただき、参加者から大変わかりやすく、とても有意義な講習だったとお声をいただきました。

また、賛助会員の(株)日環商事、日星産業(株)、講演された安永エアポンプさんが保守点検商品を展示されたので、受講者の方は、直接商品を手に取り、説明を聞くことが出来ました。



富山会場



高岡会場

* ご挨拶をいただいた方々 *



中山班長(県)



上田会長



廣瀬委員長

日時・場所・受講者数

- ・高岡会場：11月13日（水）高岡エクール 81名
- ・富山会場：11月14日（木）富山テクノホール 96名 計177名（63社）

演題・講師（両会場とも）

- ・「浄化槽行政の動向について」 富山県環境政策課 主任 飯野 弘奈 氏
- ・「安永製品 プロワの構造・メンテナンス方法について」 安永エアポンプ株式会社 主任 内岡 幹雄 氏
- ・「電気の基本と安全作業のポイント」 富山職業能力開発促進センター 堀籠 怜 氏

* 講師の方々 *



飯野氏



内岡氏



堀籠氏



展示品を見学する受講者

浄化槽行政担当職員実地研修会(県委託事業)

富山県から「浄化槽の適正管理推進業務」の委託を受け、浄化槽行政の担当者の方の指導力強化を図るための実地研修に、協会から検査員を派遣しました。

【実施内容】

法定検査に同行し、現地で、浄化槽の仕組み、検査内容について研修する。

開催日	地場所	出席者数
令和元年10月30日	砺波厚生センター管轄内	1名
" 10月31日	新川厚生センター管轄内	2名
" 11月5日	新川厚生センター管轄内	2名
" 11月6日	新川厚生センター魚津支所管轄内	1名
" 11月11日	高岡市内	2名
" 11月12日	砺波厚生センター小矢部支所管轄内	1名
" 11月19日	新川厚生センター魚津支所管轄内	1名
" 11月20日	新川厚生センター魚津支所管轄内	1名



現場研修する浄化槽行政担当者の様子



お知らせ

令和2年度水環境保全助成事業(一般社団法人全国浄化槽団体連合会)

全浄連は、水環境の保全を守るため、水環境保全活動などを積極的に実践する団体・個人を対象に、一部を助成しています。是非、ご活用いただきたくお知らせいたします。

川の水調査や環境フェアへの実施や参加、水に関する環境講座の普及啓発など、いろんな事業に助成されています。

申請期間は5月末までと、年度初めの早い期間となっておりますので、ご注意ください!

- ・助成金額 総額300万円 助成額上限/件20万円
- ・申請時期 「4月1日～5月31日」
- ・交付決定日 原則「6月末迄に」

令和元年度は、16の団体等に助成されました。詳しくは「全浄連ホームページ」をご覧ください。

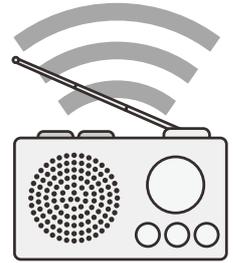
10月1日「浄化槽の日」普及活動

ラジオの放送

9月4日(水)~10月30日(水)

本年も、KNBラジオ放送で「浄化槽の日」をPRしました。

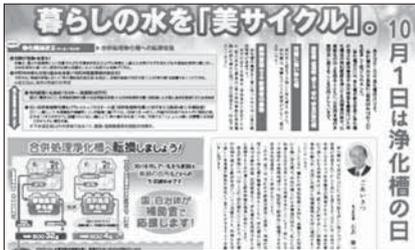
毎週水曜日の朝8時30分からのニュースの時間帯に放送しているラジオCMを、「浄化槽の日」バージョンに編集し放送しました。



新聞の特集記事を掲載

本年も、富山新聞社、北日本新聞社及び建設新報が、「浄化槽の日」特集記事を掲載しました。

広告にご協力いただいた会員の皆様、ありがとうございました。



9月30日 富山新聞



10月1日 北日本新聞



建設新報

受賞のおよろこび

今後、ますますのご活躍をご祈念いたします。

環境大臣表彰



上田 勝朗 氏



原野 久夫 氏
(有)クリーンアクト砺波

国交省 住宅局長表彰

五十嵐 郁夫 氏
(アムズ(株) 富山支店)

環境省 環境再生・ 資源循環局長表彰

廣瀬 和夫 氏
(株) 魚津清掃公社

青年部会活動

環境出前講座「こども環境教室」

青年部会では、富山県の水の素晴らしさや水の大切さに感心を持ってもらおうと、小学4年生を対象に、平成24年から環境出前講座「こども環境教室」を実施してきました。

今年は、小矢部市の小学校と新たに依頼のあった滑川市の「こどもエコクラブ」9カ所において、青年部会がフル活動しました。

特に、滑川市については、夏休み中に実施ということもあり、青年部会員は本業の仕事の間にも汗を流しながら1日、1～2回の環境教室を開催。こども達の笑顔とパワーに、頑張る力を貰ったそうです。

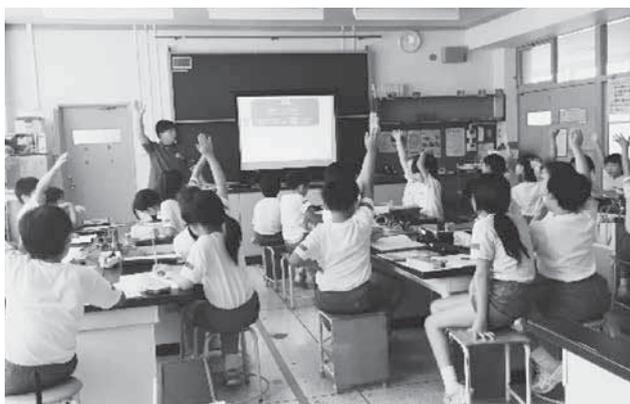
また、昨年に引き続き、小矢部市立大谷小学校及び石動小学校の4年生のこども達とも学習しました。

どの教室も、子どもたちは生きている微生物に大変関心を持ち、また水環境を守るために身近にできることに興味を示し、節水やゴミ拾い等を積極的にしていきたいと話してくれました。

終了後に、子どもたちに「水切ネット」と「下敷き」を配布しました。

【令和元年度「こども環境教室」を行った学校】

- ・7月17日(水)小矢部市 大谷小学校58名



大谷小学校の様子

- ・7月26日(金)滑川市 あおぞらクラブ46名、西部小学校下児童育成クラブ51名
 - ・8月7日(水)滑川市 東部小学校区児童育成クラブA & B 138名、東加積小学校区児童育成クラブ17名
 - ・8月19日(月)滑川市 西部小学校下児童育成クラブ51名、南部小学校下児童育成クラブ57名
 - ・8月21日(水)滑川市 寺家小学校下児童育成クラブ40名
 - ・8月28日(水)滑川市 田中小学校下児童育成クラブ56名、北加積小学校区児童育成クラブ40名
 - ・9月18日(水)小矢部市 石動小学校66名
- *「こども環境教室」は無料です。お問い合わせ及びお申込みは、当協会事務局までどうぞ！



滑川市あおぞらクラブの様子



石動小学校の様子

視 察 研 修

12月6日(金)~7日(土)

青年部会は、石川県の浄化槽メーカー「アムズ(株)」白山工場の視察に行ってきました。



成型工場にて

浄化槽C×N2型が製品完成に至るまでの工程について、実物を間近で見ることがで



き、今後の業務に繋がり大変勉強になった研修会となりました。
(参加者：11名)

「とやま環境フェア2019」に出展！

10月5日(土)~6日(日) 富山テクノホール東館
水環境の保全に役立っている浄化槽の仕組みを学び、そのきれいにする力「微生物」を実際に観察し、水の大切さを学んでもらおうと、青年部会の協力のもと出展しました。

今年の環境フェアのテーマは、「水と緑に恵

まれた快適な環境をめざして~次世代につなごう!エコな暮らし(ミライのための「COOL CHOICE」)でした。

当協会では、浄化槽のミニチュアモデルで浄化槽の仕組みを紹介したほか、浄化槽で働く「微生物」を、顕微鏡とパソコン画面で観察してもらい、



何が見えるかな?



水がきれいになるしくみを説明

環境意識の啓発を図りました。

二日間の来場者は、昨年より多い約1000名。

今回も“微生物”は人気があり、子供たちには微生物を掲載した「下敷き」を渡しました。

会員の親睦を深める 第9回TJK杯ゴルフコンペを開催

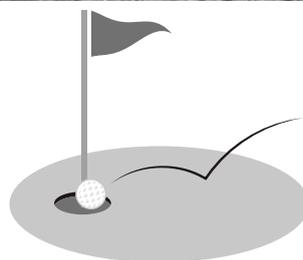
[日 時] 10月3日(木)

[会 場] 太閤山カントリークラブ

[参加者] 15名

曇り空ではありましたが、4チームに分かれてスタート。結果は、青年部会の竹林 亨氏が見事に優勝されました。

皆さん、腕や足に力が入る、それぞれの賞(?)を狙った楽しいひと時でした。



優勝
竹林 亨氏
(有 朝日衛生社)

浄化槽行政に携わって(久しぶりの雑感)

富山県生活環境文化政策課 廃棄物対策班長 中山 純一



中山 純一 氏

昨年4月に廃棄物対策班に配属されました。廃棄物・浄化槽行政に携わるのは、平成19年度以来11年振りで、通算3度目となります。よろしくお願いいたします。

思い返すと、私が最初に浄化槽を担当した7年度当時は、GATTウルグアイ・ラウンド合意の国内対策として公共事業予算が大幅に拡充された時期で、本県にも500基超の合併処理浄化槽の補助枠が配分され、市町村との調整に苦勞しました。19年度には、協会とともに11条検査の効率化(採水員検査)の検討を進めておりました。

改めて、自分が携わった時期で浄化槽設置状況を整理してみると、下表のとおりでした。浄化槽設置数はちょうど7年度がピークでしたが、19年度には約7割に、直近の30年度には約4割に減少しています。要因の多くが単独の減少ですが、随分減ったなという印象です。構成比は、合併の割合が高まっていますが、単独から合併への転換が進んだというよりは、単独の減少に伴う相対的な変化と考えられます。

昨年の浄化槽法改正では、遂に、公共下水道ならぬ「公共浄化槽」が定義され、かつて「つなぎ施設」と言われた浄化槽の地位は大きく変わりました。浄化槽が社会から信頼されるインフラであり続けるためには、法定検査を含めた維持管理の向上はもとより、単独から合併への転換を進めていく必要があります。県内でも一部市町村で、単独撤去や宅内配管の工事への追加的補助や市町村設置型事業が始まっています。県としても、市町村と連携してしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

表 県内の浄化槽設置数の推移(単位:基)

区 分	平成7年度	平成19年度	平成30年度	
浄化槽設置数	115,678(100%)	79,538(100%)	43,064(100%)	
7年度を基準とした場合の指数	100	69	37	
(内訳)	単独処理浄化槽	109,923(95%)	63,664(80%)	30,028(70%)
	7年度を基準とした場合の指数	100	58	27
	合併処理浄化槽	5,755(5%)	15,874(20%)	13,036(30%)
	7年度を基準とした場合の指数	100	276	227

令和2年4月1日「改正浄化槽法」が施行されます！

令和元年6月12日に可決・成立し、14年ぶりの大幅な改正となった「改正浄化槽法」が、令和2年4月1日に施行されます。

今回の改正には、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進や、浄化槽管理士の研修機会確保など、浄化槽に携わる私たちにとって重要な内容が含まれています。

改正内容は7つありますが、会員の皆さんにとって重要な項目は、次の4つの項目となります。

特定既存単独処理浄化槽に対する措置

設置後の経過年数が古く、生活環境などに害を及ぼす危険性の高い単独処理浄化槽に対し、撤去その他の措置の勧告や命令を、県知事が出せるようになりました。



浄化槽の使用の休止及び義務の免除

使用されなくなる浄化槽を清掃し、その使用の休止を都道府県知事に届け出ると、保守点検、清掃、法定検査の義務を免除されます。

浄化槽管理士に対する研修の機会の確保

全浄連では、保守点検業の登録更新の際に、登録管理士は全員、講習会を受講し、その修了証を添付することを義務付けるよう国、県に対して働きかけています。

また、講習内容についても全国で一定水準の講習が必要であるとの考えから、(公財)日本環境整備教育センターが統一テキストを作成し、それを使って講習を実施する方向で準備が進められています。

公共浄化槽

100人槽程度までの公共浄化槽を市町村が設置し、共同使用できるようになるものです。

これは、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換することにより、合併化を促進する狙いがあります。

その他の改正として、「浄化槽台帳の整備」、「協議会の設置」、「環境大臣の責務」があります。それらはそれぞれ、行政と国があたることになります。



令和2年度浄化槽推進関係予算(案)の概要

令和元年6月12日の浄化槽法改正の成立を受け、令和2年度においては、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換、浄化槽処理促進区域指定を受けた浄化槽整備の促進及び浄化槽台帳整備の促進を図る。

1 浄化槽整備等のための国庫助成

生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、市町村等が実施する単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を含めた浄化槽整備を推進するとともに、地球温暖化対策に資する浄化槽の省エネ改修に対して国庫助成を行う。

(1) 循環型社会形成推進交付金(浄化槽分) 10,613百万円
【うち臨時特例分 1,000百万円】
(防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策費)
【うち、令和元年度補正 1,000百万円】

【単位：百万円】

予算事項	令和元年度予算額	令和2年度予算(案)	対前年度比
循環型社会形成推進交付金【当初】	(9,979) 9,577	(10,196) 9,613	(102.2%) 100.4%
循環型社会形成推進交付金【補正】	1,000 30年度補正	1,000 R元年度補正	100.0%
計【補正+当初】	(10,979) 10,577	(11,196) 10,613	(102.0%) 100.3%

上段()は、内閣府(沖縄)、国土交通省(北海道、離島)計上分を含む額

国庫助成の内容

⑧ 環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業の要件見直し(「浄化槽処理促進区域」を設置要件に付加) 【個人設置型、市町村設置型】

令和元年の浄化槽法改正を踏まえ、市町村長が自然的経済的社会的諸条件からみて浄化槽によるし尿及び雑排水の適正な処理を特に促進する必要があると認め、「浄化槽処理促進区域」に指定された地域内での整備であることを、新たに設置要件に含めることとする。(助成率1/2)

⑧ 共同浄化槽設置要件の見直し 【市町村設置型】

浄化槽整備区域において、市町村設置型事業で事業を進めるものを対象に、浄化槽を全戸に個別に設置するよりも集合浄化槽を設置する方が単独転換を含めた汚水処理を効率的かつ集中的に進めることができる場合に、その共同浄化槽設置について令和元年度予算より助成の対象とし、循環型社会形成推進交付金交付取扱要領により、浄化槽の規模ごとに交付金上限額を定めて運用している。

令和2年度においては、この交付金上限額について、商業地域等により実居住人口から算定される計画汚水量よりも実際に排出される汚水量が多くなることが見込まれる場合において、共同浄化槽の人槽規模の特例を設定する。(助成率1/3、1/2)

⑧ 浄化槽市町村整備推進事業の補助対象拡充 【市町村設置型】

【令和元年度補正予算～】

市町村が行う市町村整備推進事業により整備された既設の浄化槽の災害に伴う改築事業を補助メニューに追加する。(助成率1/3)

⑧ 個人設置型事業による公共浄化槽として管理される浄化槽整備への助成 【個人設置型】

令和元年には浄化槽法の改正により、「公共浄化槽」の定義が新たに設定され、その中に、個人や管理組合等が整備をした浄化槽を市町村が管理するものも含まれている。

個人設置型事業により公共浄化槽として管理される浄化槽整備については、市町村設置型事業に準じて行うことができるものとして、管理組合等が行う共同浄化槽(100人以内)の整備(流入管を含む)を対象として助成する。(助成率1/3、1/2)

⑨ 浄化槽整備効率化事業への助成

浄化槽の整備を推進していく上で、令和元年度より市町村整備事業を重点的に支援対象としたところであり、公共浄化槽整備推進事業の適正化のため、浄化槽処理促進区域の設定に必要な調査、PFI等の民間活用や大型浄化槽による共同化などによるコスト縮減や経営改善の検討に資する測量・設計、各種調査等など、効率的な施設整備に必要な費用を助成する。(助成率1/3)

⑩ 浄化槽台帳の改修等への助成

【令和元年度補正予算～】

地方公共団体(都道府県及び市町村)が行う、浄化槽整備を効率的に実施するにあたり必要な設置・維持管理情報等のデータの電子化に要する費用(悉皆調査、電子化)及び既に浄化槽台帳を整備している自治体(都道府県及び市町村)が行う、既存の台帳システムを環境省が省令等で求める内容に沿って改修する事業に要する費用に対して循環型社会形成推進交付金を交付する。(助成率1/3)

(2) 二酸化炭素排出抑制事業費等補助金(浄化槽分)1,800百万円

省エネ型浄化槽システム導入推進事業

51人槽以上の既設合併処理浄化槽に係る、省CO型の高度化設備(高効率ブロワ、インバーター制御等)の導入・改修を行う。

また、建築基準法に定める旧構造基準及び新構造基準の浄化槽(ブロワを使用するものに限る)のうち60人槽以上の既設合併処理浄化槽から構造や本体のコンパクト化によってエネルギー削減効果の高いと見込まれる浄化槽への交換及び平成12年度より販売の性能評価型の浄化槽のうち、初期型の合併処理浄化槽から60人槽以上の最高水準の省エネ技術を用いた先進的省エネ浄化槽への交換について地方公共団体や民間団体に補助する。(補助率1/2、間接補助)

(3) その他

地方創生推進交付金(内閣府に計上)1,000億円の内数

地方版総合戦略の本格的な推進に向けた地方創生の深化のための交付金。本交付金のうち、「地方創生汚水処理施設整備推進交付金」は、(旧)地域再生基盤強化交付金(環境省、農林水産省、国土交通省所管)の汚水処理施設等を総合的に整備する汚水処理施設整備交付金等)から再編され、平成28年度に創設されたもの。

2 浄化槽の整備推進にかかる行政経費(一部掲載)

⑪ 浄化槽リノベーション推進事業費

80百万円【令和2年度10百万円、令和元年度補正70百万円】

浄化槽の設置状況や維持管理情報を統合した浄化槽台帳の普及を図るとともに、浄化槽台帳とハザードマップ等を活用して地域単位での災害推計や被災リスクを明らかにして、当該地域の早期復旧に資する仕組みや広域的な復旧体制作りを行うための指針を作成する。

また、全国の浄化槽台帳に集積された情報を統合する手法を検討するとともに、統合されたビッグデータを活用することによる管理の高度化に関する検討を行う。

(令和元年度補正予算において、浄化槽台帳システムのプロトタイプ作成、試験運用等を行う。作成された浄化槽台帳システムについては、環境省ホームページにて公開し、地方公共団体に無償で配布予定。)

我が国循環産業の戦略的国際展開・育成事業 370百万円の内数

「2030年までに、未処理の排水の割合半減」、「2030年までに、排水処理技術など、開発途上国における水と衛生分野での国際協力と能力構築支援を拡大」等の持続可能な開発目標(SDGs)に貢献するため、浄化槽等の日本発の優れたし尿処理技術の国際展開を図る。

3 その他

<東日本大震災復興交付金として復興庁計上>

低炭素社会対応型浄化槽等集中導入事業

東日本大震災により被害のあった地域における、低炭素社会対応型浄化槽(市町村設置型・個人設置型)及び通常型浄化槽(個人設置型)の迅速な整備について財政支援を行い、被災地の生活排水対策の早期回復を図る(令和2年度まで継続)

都道府県別汚水処理人口普及状況(平成30年度末)

環境省HPより

都道府県名	汚水処理人口普及率	順位	総人口 (千人)	汚水処理人口計 (千人)	下水道 (千人)	農業集落排水施設等 (千人)	合併処理浄化槽 (千人)	うち 浄化槽市町村整備推進事業等分 (千人)	うち 浄化槽設置整備事業分 (千人)	うち 左記以外分 (千人)	コミュニティプラント (千人)
北海道	95.5%	10	5,275	5,039	4,811	67	162	53	66	43	0
青森県	80.0%	41	1,282	1,025	776	115	134	10	42	82	0
岩手県	81.6%	35	1,241	1,013	743	104	165	41	96	28	2
宮城県	91.8%	17	2,293	2,105	1,872	69	158	39	81	38	6
秋田県	87.4%	23	993	867	650	103	114	21	68	25	0
山形県	92.6%	14	1,089	1,008	839	78	90	19	46	25	0
福島県	82.8%	34	1,829	1,515	985	120	409	40	252	118	1
茨城県	84.8%	31	2,926	2,482	1,827	159	486	13	198	275	9
栃木県	87.0%	26	1,969	1,713	1,322	86	304	6	240	58	1
群馬県	81.3%	37	1,975	1,605	1,070	124	387	24	239	124	24
埼玉県	92.2%	16	7,377	6,805	5,992	95	718	23	191	503	1
千葉県	88.6%	20	6,308	5,587	4,722	50	808	11	294	504	8
東京都	99.8%	1	13,768	13,739	13,707	2	27	5	8	14	2
神奈川県	98.1%	5	9,193	9,018	8,896	3	118	3	37	78	0
新潟県	87.8%	22	2,247	1,973	1,701	150	122	14	40	68	0
富山県	96.8%	8	1,059	1,026	904	88	31	1	18	11	3
石川県	94.2%	11	1,141	1,074	958	61	53	10	14	29	3
福井県	96.1%	9	782	752	628	88	36	3	26	7	0
山梨県	83.2%	33	829	689	553	15	116	8	48	60	5
長野県	98.0%	6	2,092	2,050	1,754	178	117	16	83	18	1
岐阜県	92.4%	15	2,037	1,883	1,556	115	208	9	132	67	4
静岡県	81.4%	36	3,715	3,025	2,357	30	624	15	367	242	14
愛知県	91.0%	18	7,556	6,880	5,947	154	768	23	245	501	10
三重県	85.3%	30	1,818	1,551	998	100	450	17	228	205	3
滋賀県	98.7%	3	1,419	1,401	1,280	85	35	0	13	22	0
京都府	98.2%	4	2,547	2,502	2,413	42	47	11	24	13	0
大阪府	97.9%	7	8,839	8,652	8,489	1	161	4	26	131	0
兵庫県	98.9%	2	5,554	5,491	5,174	154	101	9	64	28	62
奈良県	89.9%	19	1,358	1,221	1,095	7	118	4	34	80	1
和歌山県	65.1%	46	960	625	268	45	312	14	187	111	0
鳥取県	94.1%	12	563	530	402	96	30	5	14	12	0
島根県	80.6%	40	682	550	335	101	110	29	49	32	4
岡山県	86.9%	27	1,905	1,656	1,298	39	318	17	207	94	0
広島県	88.4%	21	2,829	2,501	2,130	53	314	14	153	146	4
山口県	87.2%	24	1,376	1,199	911	65	223	8	137	78	0
徳島県	61.8%	47	746	461	135	20	298	14	166	118	8
香川県	77.7%	43	983	764	445	16	302	13	240	49	0
愛媛県	79.2%	42	1,375	1,089	751	39	298	25	167	107	1
高知県	73.8%	45	712	526	282	22	221	13	131	78	2
福岡県	92.6%	13	5,117	4,738	4,202	56	467	56	285	125	12
佐賀県	83.8%	32	825	691	504	61	126	41	65	19	1
長崎県	80.9%	39	1,355	1,096	849	49	192	15	137	40	5
熊本県	87.0%	25	1,772	1,541	1,214	72	255	31	175	49	0
大分県	76.9%	44	1,154	887	590	34	263	12	170	81	1
宮崎県	85.9%	29	1,097	943	656	49	238	17	185	36	0
鹿児島県	81.1%	38	1,631	1,322	689	41	587	46	413	127	5
沖縄県	86.1%	28	1,470	1,266	1,059	68	140	13	5	122	0
全国計	91.4%		127,062	116,077	100,741	3,371	11,761	833	6,108	4,820	204

(注)1. 整備人口は四捨五入を行ったため、合計が合わないことがある。

2. 平成30年度調査は、福島県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村(楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村)を除いた値を公表している。

3. 福島県については、上記市町村以外でも東日本大震災に伴う避難の影響により人口が流動していることに留意する必要がある。

県内市町村別の汚水処理及び下水道処理人口普及状況(平成30年度末)

富山県HPより

(単位：千人)

市町村名	行政人口	下水道 処理人口	下水道処理 人口普及率 (%) (()内 H29 末)	類似施設 処理人口	処理人口 合計	汚水処理 人口普及率 (%) (()内 H29 末)
富山市	415.9	384.4	(92.1) 92.4	28.1	412.5	(99.1) 99.2
高岡市	171.2	157.5	(91.8) 92.0	6.4	163.9	(95.6) 95.8
魚津市	41.9	31.9	(75.7) 76.0	8.7	40.6	(96.4) 96.7
氷見市	47.2	28.7	(60.4) 60.9	14.6	43.3	(91.3) 91.7
滑川市	33.2	25.5	(75.6) 76.7	5.6	31.1	(92.9) 93.7
黒部市	41.3	26.4	(63.3) 64.0	12.8	39.2	(94.7) 95.1
砺波市	48.5	33.2	(67.0) 68.4	10.3	43.5	(89.0) 89.6
小矢部市	30.0	19.1	(63.0) 63.8	6.2	25.4	(83.7) 84.6
南砺市	50.9	43.7	(85.0) 86.0	6.9	50.6	(99.6) 99.5
射水市	92.9	82.3	(88.5) 88.6	10.5	92.8	(99.9) 99.9
市計	972.9	832.9	(85.1) 85.6	110.0	942.8	(96.7) 96.9
舟橋村	3.1	3.1	(100.0) 100.0	0.0	3.1	(100.0) 100.0
上市町	20.6	18.0	(87.2) 87.2	2.3	20.3	(98.5) 98.6
立山町	26.0	22.1	(83.9) 84.9	2.6	24.6	(94.2) 94.7
入善町	24.8	18.5	(74.5) 74.8	6.2	24.8	(99.9) 100.0
朝日町	12.0	9.4	(75.7) 78.8	0.8	10.3	(83.8) 85.8
町村計	86.5	71.1	(81.4) 82.2	12.0	83.1	(95.5) 96.1
合計	1,059.4	904.0	(84.8) 85.3	121.9	1,025.9	(96.6) 96.8

・類似施設：農村下水道、コミュニティ・プラント、合併処理浄化槽
 ・表の数値については、四捨五入を行ったため、合計があわないことがある。

全浄連 / 教育センター / 東海北陸ブロック協議会

第33回「全国浄化槽大会」開催される

10月1日(火)東京都 ホテルグランドパレス
「浄化槽の日」を記念して浄化槽の健全な普及
促進を図り、生活環境の保全、向上に寄与するこ
とを目的に「第33回全国浄化槽大会」が開催され
ました。

当協会の上田会長、栗林専務理事等、全国から
関係者約800名が参加する中、祝辞の後、「浄化槽
適正整備推進決議」の採択、浄化槽功労者の表彰、
浄化槽標語募集の結果発表が行われました。

懇親会には、9月11日に就任された小泉進次郎

環境大臣をはじめ多くの国会議員が出席され、浄
化槽の一層の整備促進へ祝辞を述べられました。

表彰式では、当協会から4名の方が受賞されま
した。

環境大臣表彰

上田 勝朗 氏(当協会会長)

原野 久夫 氏(当協会元理事)

国土交通省 住宅局長表彰

五十嵐 郁夫 氏(当協会理事)

環境省 環境再生・資源循環局長表彰

廣瀬 和夫 氏(当協会副会長)



挨拶をする上田勝朗全浄連会長



大会会場風景

(写真はどちらも全浄連ニュース164号から)

公明党懇話会が予算編成に向けた決議で財務・環境省に申し入れ(全浄連HPから)

12月3日、公明党浄化槽整備
推進議員懇話会によって「令和
2年度浄化槽整備事業予算編
成」に向けた決議の財務省・環
境省への申し入れが行われ、全
浄連として上田勝朗会長・高橋
静雄専務
理事の両
名が同行
いたしま
した。



上田会長が手渡しました。

全浄連 北陸地区協議会各県会長会議に出席（担当：石川県）

11月21日(水)~22日(木) 金沢市 KKR金沢
令和元年度の全浄連 北陸地区協議会各県会長
会議は、石川県金沢市で開催されました。

新潟、石川、福井及び富山の各県会長等が、年
1回情報交換行っています。

会議では、事前に提出されていた質問に対する
各県からの回答に加え、上田会長からは改正浄化
槽法のお話や省エネ補助事業、また、全浄連及び
国の動きなどの説明がありました。

また、今回は役員改選の年であり、上田会長が、
引き続き2年間（令和2年~3年度）北陸地区協
議会の会長を務めることになりました。

情報交換は、夕食をとりながら遅くまで、また
翌日の昼食時でも食事をしながら話し合うなど、
次から次と話題は尽きることがなく、たっぷり時
間を掛けた、とても有意義な会議でした。



第33回 全国浄化槽技術研究集会に参加

10月9日(水)~10日(木)

秋田市 秋田キャッスルホテル



（公財）日本環境整備教育センターが主催する
第33回全国浄化槽技術研究集会は、秋田市で開催
されました。

初日は研究発表と式典が、2日目は浄化槽行政
担当者研究会と浄化槽検査員研究会が催され、両
日合わせて延べ約1,050名の関係者が全国各地か
ら参加し、当協会から上田会長はじめ4名が参加
しました。

次回は、令和2年10月14日、15日大阪府 泉佐
野市で開催されます。是非、ご参加ください。

お 知 ら せ

会員情報

変 更 (敬 称 略)

所属業種	変更事項等	変更後
保守点検業	(株)環研 会社合併による 社名変更	環研令和(株) 代表者 稲場 智久 (変更はありません)
製造・施工・ 保守	(株)西原ネオ 代表取締役社長	月橋 伸夫
工事・保守	(株)ダイテック 住 所	高岡市問屋町50 (電話番号は変更ありません)

退 会

所属業種	会員名	住 所
工 事 業	昭和工業(株) 山口 剛	富山市
工 事 業	米島商会 米島 哲文	黒部市

今後の開催予定(総会・理事会等)

行政との情報交換会及び新春懇親会
令和2年1月30日(木)16時から
第2回定例理事会(令和元年度)
令和2年3月24日(火)14時から
第8回定時総会
令和2年6月9日(火)14時から

第5期指定採水員指定講習会を開催します

現在、採水員検査を行っておられる指定採水員の指定期間が、この3月末で満了となります。引き続き採水員検査を実施していただくために、指定採水員指定講習会を開催いたしますので、是非、受講していただきたくお知らせいたします。

なお、詳細は、直接、各事業所へご案内いたしますので、継続の方だけでなく新規の方もお申込みください。

よろしくお願いたします。

開催日	令和2年2月18日(火) 13時から
会 場	富山テクノホール 富山市友杉1682

新職員の紹介です

令和元年12月から検査課に勤めることになりました。毎日、検査員に同行して勉強中です。どうぞよろしくお願いたします。



検査補助員：笠原 宏介
趣 味：プロレス観戦
好きな食べ物：ラーメン
特に「はし本」のラーメンが大好きです。

事務所移動のお知らせ

富山商工会議所ビルは、平成30年10月から耐震補強工事が継続中です。このため、昨年の9月に協会事務所は、下記の場所へ移動いたしました。事務所へお越しの際は、お間違えのないようお出でください。

富山商工会議所ビル別館2階(別館エレベータ横の階段をご利用ください。)

住所、電話番号、ファックス番号に変更はありません。

なお、同ビルの駐車場は3月末まで利用できませんので、裏の富山市営駐車場をご利用ください。

● 協会のあゆみ

● 第86号より続く

年月日	内 容	会 場
令和元年		
7月17日	こども環境教室①	小矢部市立大谷小学校
7月21日	第10回富山に eco とプロジェクト～清掃活動～	射水市六渡寺海岸
7月26日	滑川市こども環境教室②、③	滑川市こどもエコクラブ
7月26日	全浄連 正副会長会	東京都
7月31日	機関紙「浄化槽とやま」第86号発行	
8月7日	滑川市こども環境教室④、⑤	滑川市こどもエコクラブ
8月19日	滑川市こども環境教室⑥、⑦	滑川市こどもエコクラブ
8月21日	滑川市こども環境教室⑧	滑川市こどもエコクラブ
8月22日	黒部市合併処理浄化槽適正維持管理推進協議会総会	黒部市役所
8月28日	滑川市こども環境教室⑨、⑩	滑川市こどもエコクラブ
9月5・6日	東海北陸ブロック協議会検査員連絡会②	岐阜県
9月10日	第4回青年部会幹事会	富山県民会館
9月13日	全浄連 理事会	東京都
9月18日	こども環境教室⑪	小矢部市立石動小学校
9月29日	富山県総合防災訓練に参加	入善町(総合体育館周辺)ほか
9月30日	市町村長要望	射水市
9月30日～	「浄化槽の日」新聞普及啓発	富山新聞、北日本新聞、建設新聞
10月1日		
10月1日	第33回全国浄化槽大会	東京都
10月2日	全浄連理事会、浄化槽推進議員連盟役員会ほか	東京都
10月3日	第9回 TJK 杯ゴルフコンペ	太閤山カントリークラブ
10月5・6日	「とやま環境フェア 2019in 富山」に出展	富山テクノホール
10月9・10日	第33回全国浄化槽技術研究集会	秋田県
10月11日	市町村長要望	入善町
10月23日	第2回臨時理事会	富山県民会館
10月25日	市町村長要望(5市町)	朝日町、上市町、立山町、滑川市、黒部市
10月28日	第5回青年部会幹事会	富山県民会館
11月1日	市町村長要望(5市町)	砺波市、氷見市、南砺市、小矢部市、高岡市
11月2日	「滑川市環境フェア」に出展	滑川市
11月6日	市町村長要望(3市村)	舟橋村、富山市、魚津市
11月7・8日	東海北陸ブロック協議会研修会及び役員会	石川県
11月13・14日	浄化槽管理士技術講習会 1日目…高岡会場 2日目…富山会場	1日目：高岡エクール 2日目：富山テクノホール
11月18日	精度管理委員会	富山県民会館
11月21・22日	全浄連 北陸地区協議会各県会長会議	石川県
11月22日	環境出前講座(新川支部、中部支部ほか合同開催)	魚津商工会議所ビル
11月28日	富山県知事要望	富山県庁
12月6・7日	青年部会視察研修会	石川県
12月12日	第1回正副会長会議	富山第一ホテル